

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成23年10月28日(金)5校時
児 童 5年1組 男20名 女13名 計33名
指導者 大志 田 美 和(北松園小学校)

「読むこと」の指導事項 ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。 エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
<この単元で身に付けたい力> ・ 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をする力 ・ 優れた叙述について自分の考えをまとめる力

- 1 単元名 作品を自分なりにとらえ、朗読しよう
教材名 大造じいさんとガン

2 児童と単元について

(1)単元について

本単元は、学習指導要領の「自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること」(読むこと ア)「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」(読むこと エ)に基づき、「優れた表現によって、人物の深い心情や性格について想像し、自分なりの読み方で朗読すること」を主なねらいとする。

本単元は、「大造じいさんとガン」という文学的文章と「本は友達」の図書紹介で構成されている。「大造じいさんとガン」の学習を行いながら、椋鳩十の作品や動物を題材にした作品の並行読書を行うことで、様々な優れた叙述に触れることができるような構成になっている。

本教材は、ガンの頭領「残雪」が仲間のために命をかけて戦う姿と、その残雪と戦う「大造じいさん」の心情の変化が描かれており、前書きと四つの場面とで構成されている。四つの場面は「起承転結」の形になっているため、話の展開が分かりやすい。また、登場人物の心情が会話や行動だけでなく、鮮やかな情景描写や文語調の文章体などで見事に表現されている。これらの表現の素晴らしさを理解することは、言葉に対する感覚を磨くことにつながっていく。さらに、残雪の知恵や頭領としての威厳、ふるまいに感動していく大造じいさんの心情を丁寧に読み取っていくことで、作品を自分なりにとらえることができる。

このように本教材は、様々な優れた叙述から大造じいさんの心情の変化や人物像を想像する学習を通して自分の思いや考えをもち、それを朗読で表現するのに適した教材であると考えられる。

本教材は、中学校第1学年の「文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること」(読むこと ア)「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること」(読むこと ウ)につながっていく。

(2)児童について

子ども達は、「あめ玉」の学習で、4年までの学習を振り返りながら、場面の様子や登場人物の気持ちが表れるように読み方を工夫し、グループごとに音読し合う学習に取り組んだ。会話文では、登場人物の心情を表わそうと声の調子や読む速さを変えるなどの工夫が見られた。しかし、地の文については、叙述から場面の様子を想像することはできたが、それを音読で表現することについては十分とは言えなかった。さらに、「のどがかわいた」の学習では、登場人物の行動、会話文などの叙述から人物像をとらえさせ、登場人物の関係の深まりや心情の変化を読む活動を行った。話し合い活動では、自分なりの考えをもち、話し合うことができるようになってきている。

音読については、毎日、家庭音読を行っている。また、授業の中でも「一斉読み」「段落読み」などを行っている。ほとんどの子が意欲的に取り組み、教材文を正しく読むことができる。しかし、自分が読み取ったことが伝わるように音読で表現しようとするまでには至っていない。

(3) 指導にあたって

本単元は、4学年の「白いぼうし」の「内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読する」という学習をうけて、「文章を読んで感じたことや思ったこと、考えたことなどを大切にしながら、その思いや考えが相手に伝わるように朗読すること」をねらいとしている。また、この学習は6学年の「せんねん まんねん」での「感じたことや考えたことが伝わるように音読する」につながっていく。このような系統的つながりを踏まえたうえで、自分なりの思いや考えをもって朗読することを意図して学習活動を展開していく。

単元の指導にあたっては、まず、児童が初めて出会う「朗読」「情景」という言葉について理解させたい。そのうえで、自分の思いや考えが伝わるように朗読するために、大造じいさんの行動や会話文だけでなく、情景描写などの叙述に着目して大造じいさんの心情を想像し交流すること、また自分なりに考えたことや感じたことが伝わるように読み方の工夫をして朗読で表現するという活動を繰り返し行ってきたい。

また、椋鳩十の作品や動物を題材にした作品の並行読書を行いながら、様々な情景描写や文体に触れる機会を設けるとともに読書活動の活性化を図りたい。

3 単元の目標

- (1) 作品を自分なりにとらえ、朗読しようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- (2) 自分の思いや考えが伝わるように、音読や朗読をすることができる。 【読むこと ア】
- (3) 優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。 【読むこと エ】
- (4) 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることができる。 【書くこと オ】
- (5) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(カ)】

4 学習指導計画及び評価規準(10時間)

過程	学習内容と 主な学習活動	評価規準<評価方法>			言語活動を通して考える力を育成する活動
		国語への 関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての 知識・理解・技能	
第一次 2時間	学習の見通しをもつ。 ・単元名とリード文を読む。 ・「朗読」について知る。 ・全文を読み、感想を書く。 ・学習計画を立てる。 ・漢字や語句の学習をする。 2時間	・単元名やリード文を読んで学習の見通しを持ち、教材文に興味を持って読もうとしている。 <発言・態度>	・学習の仕方を理解し、全文を読んで感想を書いている。 <発言・ノート>	・漢字や語句について理解している。 <音読・ノート>	・感想を書いたり、発表したりする活動
第二次 5時間	大体の内容をつかむ。 ・残雪の様子や行動、大造じいさんの心情を場面ごとに書き出して整理する。 1時間	・残雪の様子や行動、大造じいさんの心情を場面ごとに整理しようとしている。 <発言・態度>	・残雪の様子や行動、大造じいさんの心情を場面ごとに整理し、作品の構成と内容の大体をまとめている。 <発言・ノート>	・文語調の文章について、大体の内容を理解している。 <発言>	・場面ごとに内容の大体を読む活動
	1の場面を読み、大造じいさんの残雪への思いを読む。 ・大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。 ・自分の思いや考えが伝わるように朗読の仕方を考える。 1時間	・大造じいさんの残雪に対する思いを読み取る。 <発言・ノート・朗読>	・残雪の知恵の素晴らしさに感嘆する大造じいさんの心情を読み取り、自分の思いや考えが伝わるような朗読の仕方を考えている。 <発言・ノート>	・会話や行動、情景描写に使われている語句を理解している。 <発言、ノート>	・会話や行動、情景描写などから大造じいさんの心情を読み取り、交流する活動

	<p>2の場面を読み、大造じいさんの残雪への思いを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。 ・自分の思いや考えが伝わるように朗読の仕方を考える。 <p>1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの残雪に対する思いを読み取るようにしている。 <p><発言・ノート・朗読></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・残雪の知恵と群れに対する指導によって、またしても作戦が失敗し悔しがら大造じいさんの心情を読み取り、自分の思いや考えが伝わるような朗読の仕方を考えている。 <p><発言・ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、情景描写に使われている語句を理解している。 <p><発言、ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、情景描写などから大造じいさんの心情を読み取り交流する活動
	<p>3の場面を読み、大造じいさんの残雪への思いを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。 ・自分の思いや考えが伝わるように朗読の仕方を考える。 <p>1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの残雪に対する思いを読み取るようにしている。 <p><発言・ノート・朗読></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間を救おうと必死に戦う残雪に心を打たれる大造じいさんの心情を読み取り、自分の思いや考え伝わるような朗読の仕方を考えている。 <p><発言・ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、情景描写に使われている語句を理解している。 <p><発言、ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、情景描写などから大造じいさんの心情を読み取り、交流する活動
	<p>4の場面を読み、大造じいさんの残雪への思いを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの残雪に対する思いを読み取る。 ・自分の思いや考えが伝わるように朗読の仕方を考える。 <p>1時間(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの残雪に対する思いを読み取るようにしている。 <p><発言・ノート・朗読></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・残雪を、いつまでも、いつまでも見守っている大造じいさんの心情を読み取り、自分の思いや考えが伝わるような朗読の仕方を考えている。 <p><発言・ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、情景描写に使われている語句を理解している。 <p><発言、ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、情景描写などから大造じいさんの心情を読み取り、交流する活動
第三次	<p>自分の好きな場面を選んで、朗読の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの人物像についてまとめる。 ・発表する場面を選び、朗読の仕方を考え、練習する。 <p>1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの人物像についてまとめ、自分の思いが伝わるように、朗読の工夫をしようとしている。 <p><発言・ノート・朗読></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの人物像についてまとめ、自分の思いが伝わるように、朗読の工夫をしている。 <p><ノート・朗読></p>		<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの人物像についてまとめる活動
2時間	<p>朗読を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面の朗読を発表し、交流する。 <p>1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面の朗読の仕方を考え、朗読しようとしている。 <p><態度></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面の朗読の仕方を考え、朗読している。 <p><発表></p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな場面の朗読を発表する活動
第四次 1時間	<p>短文で構成される文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短文で構成される文章の効果について話し合う。 ・動きについて、短文で構成される文章を書く。 <p>1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短文で構成される文章を書こうとしている。 <p><態度・ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短文で構成される文章の効果について考え、短文で構成される文章を書いている。[書く] <p><発言・ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短文で構成される文章を書いている。 <p><ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何かの動きについて短文で構成される文章を書く活動

5 本時の指導

(1) ねらい

<国語への関心・意欲・態度>

大造じいさんの残雪に対する思いを読み取ろうとする。

<読む能力>

残雪をいつまでも、いつまでも見守っている大造じいさんの心情を読み取り、自分の思いや考えが伝わるような朗読の仕方について考えることができる。

<言語についての知識・理解・技能>

会話や行動、情景描写に使われている語句を理解することができる。

(2) 具体的評価規準

観点別評価目標	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(支援の手立て)
残雪をいつまでも、いつまでも見守っている大造じいさんの心情を読み取ることができる。	残雪をいつまでも、いつまでも見守っている大造じいさんの残雪に対する思いと、自分の行動に対して満足している大造じいさんの心情を読み取っている。	残雪をいつまでも、いつまでも見守っている大造じいさんの残雪に対する思いを読み取っている。	叙述を手掛かりに、大造じいさんの心情を読み取らせる。
自分の思いや考えが伝わるように、朗読の仕方を考えることができる。	自分の思いや考えが伝わるように記号や言葉を書き込み、情景描写の朗読の仕方を考えている。	自分の思いや考えが伝わるように記号や言葉を書き込み、朗読の仕方について考えている。	板書を手掛かりに、大造じいさんの心情についてとらえさせ、会話文の朗読の仕方について考えさせる。

(3) 「考える力」の育成のための手立て

【考える力の育成にかかわる身に付けさせたい力】

- ・会話や行動、情景描写から登場人物の心情について想像を豊かにしながら読む力
- ・文章を読んで自分が感じたことや思ったこと、考えたことが伝わるような朗読の仕方について考える力

【考える力を育成するための言語活動】

- ・自分がとらえた大造じいさんの心情が伝わるように朗読の仕方を考え、交流する活動

(4) 展開

過程	学習内容・学習活動 (発問 指示)	時間	指導上の留意点・評価 (・留意点 評価)
導入	1 前時の学習内容を想起する。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間を救おうと必死に戦う残雪に心を打たれる大造じいさんの心情を確認し、本時の課題につなげる。 ・会話文や行動などから心情について考えていくことを確認し、読みの視点をもたせる。 ・朗読したい部分について、自分なりに捉えた大造じいさんの心情をはっきりさせてから、朗読の工夫をすることを伝え、学習の見通しをもたせる。
	2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">残雪をいつまでも、いつまでも見守っている大造じいさんの心情が伝わるように、朗読の仕方を工夫しよう。</div>	3	
	3 学習課題を解決する。 (1) 学習場面を音読する。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの会話文や行動などの叙述に着目させながら読ませる。
	(2) 大造じいさんの残雪に対する思いについて考える。	12	

展開	<p>大造じいさんの残雪に対する思いが強く表れているのは、どこでしょう。</p> <p>大造じいさんは残雪のどんなところが「英雄」「えらぶつ」だと思っているのでしょうか。</p> <p>大造じいさんの考える「ひきょうなやり方」はどんなやり方でしょう。</p> <p>会話文以外のところで、大造じいさんの残雪に対する思いが表れているところはどこでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話文から、大造じいさんの残雪に対する思いについて、自分なりの考えをもたせる。 ・線を引いた言葉を確認してから、心情について話し合う。 ・残雪の仲間を守ろうとして取った行動が、大造じいさんの残雪に対しての見方を大きく変化させたことをとらえさせる。さらに「おまえ」「おれ」「おれたち」という言葉から、大造じいさんが自分と対等の立場として残雪に呼び掛けていることに気付かせる。 ・傷ついた相手をとらえることが「ひきょうなやり方」であり、自分がとった様々な計略は「ひきょうなやり方」ではないことを、「また堂々と」という叙述からとらえさせ、自分のとった計略は「堂々と」したものであったと大造じいさんが感じていることをとらえさせる。 ・大造じいさんの行動や情景描写からも心情が読み取れることに気付かせ、朗読の仕方を考える活動につなげる。 会話文を手掛かりに、大造じいさんの心情を読み取ることができたか。
	<p>(3) 話し合ったことをもとに、朗読の仕方を考える。 大造じいさんの心情がわかるように朗読の仕方を考えましょう。</p> <p>(4) 朗読の仕方について考えたことを交流する。 朗読の仕方について考えたことを、グループで交流しましょう。</p> <p>全体で交流しましょう。</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんのどのような心情を、どの段落で朗読したいのか、自分の考えをノートにまとめさせる。 ・朗読の仕方について、自分の考えが伝わるように教科書に記号や言葉を書き込ませ、試し読みをさせる。 読み取った大造じいさんの心情をもとに、朗読の仕方を考えることができたか。 <p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流する際には、自分のとらえ方と比べながら聞かせ、友達の考えの良さなどに気付かせる。 ・自分なりに捉えた大造じいさんの心情が分かるように、朗読の仕方を工夫している児童に発表させ、考えの違いや良さに気付かせる。
終末	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>5 次時の学習内容の確認をする。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書で本時の学習を振り返る。 <p>1</p>

大造じいさんとガン

椋 鳩十

残雪をいつまでもいつまでも見守っている大造じいさんの心情がわかるように朗読の仕方を工夫しよう。

尊敬

ある晴れた春の朝

・いつぱいに開けて

「おつい、ガンの英雄よ。おまえみたい
なえらぶつを、おれは、ひきょうなや
り方でやつつけたかあないぞ、なあ
おい。今年の冬も、仲間を連れて
ぬま地にやって来いよ。そつして
おれたちは、また堂々とただかおつじ
やあないか。」

対等

ライバル

期待

楽しみ

満足

すがすがしい



- ・らんまん
- ・スモモの花・白
- ・雪のよつに
- ・清らかに

- ・大きな声
- ・よびかけ

- ・晴れ晴れとした顔つき
- ・見守つて
- ・いつまでも、いつまでも



第1段落
大造じいさんの~~~~という気持ち(様子)を表すために、
~~~~読み方をしたい。